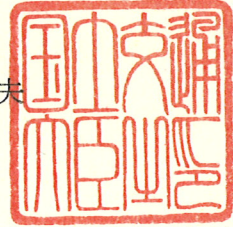


認 定 書

国住指第 3371 号
平成 23 年 1 月 12 日

株式会社ダイサン
代表取締役 峠元 幹也 様

国土交通大臣 馬淵 澄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第二号（床：2 時間（第一号）、1 時間（第二号））の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP120FL-0105
2. 認定をした構造方法等の名称
ビーズ法ポリスチレンフォーム充てん／鉄筋コンクリート造床
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

ビーズ法ポリスチレンフォーム充てん/鉄筋コンクリート造床

2. 寸法

床の各辺の長さについては、構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする。

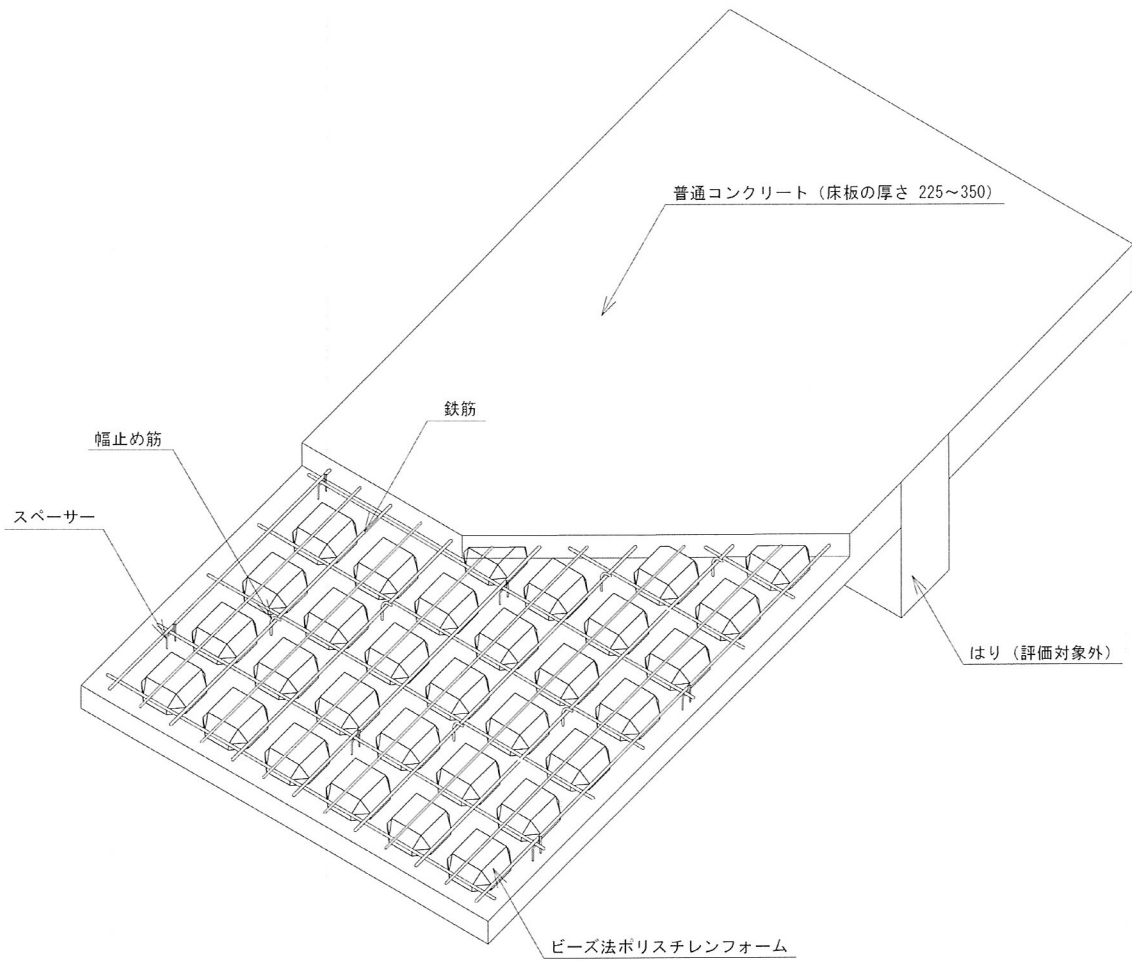
3. 材料構成等

項 目	製 品 仕 様
① 床板 コンクリート (普通コンクリート)	床板の厚さ(mm) 225・250・275・300・325・350+5, -2 規格 JIS A 5308(レディーミクストコンクリート) 圧縮強度(N/mm ²) 19(-1)~60(材令 28 日) 気乾単位容積質量(g/cm ³) 2.3±0.1
ビーズ法ポリ スチレンフォ ーム(ボイド)	高さ(mm) 125・150・175・200・225・250+5, -2 大きさ(mm) 225×225(±2) 密度(kg/m ³) 15±1.5 組成(mass%) ポリスチレン系樹脂 94±5.0 発泡剤 5±0.5 難燃薬剤(臭素化脂環族系) 1±0.1
鉄筋	材料名及び規格 鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112(SD295A)) 直径(mm) 主筋①(上端筋) : D16 以上 主筋②(下端筋及び上端筋) : D13 以上 配力筋①(上端筋) : D16 以上 配力筋②(下端筋及び上端筋) : D13 以上 乗せ筋 : D10±0.4 押え筋 : D10±0.4 幅止め筋 : D10 以上 間隔(mm) 又は本数 主筋①及び配力筋①(上端筋) : 900±10 主筋②及び配力筋②(下端筋及び上端筋) : 300±10 乗せ筋 : 2 本(下端主筋相互の間) 押え筋 : 1 本(上端主筋相互の間) 幅止め筋 : 2 本以上(0.81 m ² 当たり) かぶり厚さ(mm) 35 以上(主筋に対して)

項 目		製 品 仕 様																							
① 床 板	スペーサー	材料名及び規格 軟鋼線材(JIS G 3505) 高さ(mm) 174・199・224・249・274・299±2 線径(mm) 6±0.5																							
	アンカー	種類 ポリプロピレン系樹脂 高さ(mm) 40±2 大きさ(mm) 60×70(±1)																							
②床板の厚さとビーズ法ポリスチレンフォームの高さ等の組み合わせ		<table border="1"> <thead> <tr> <th>床板の厚さ(mm)</th> <th>ビーズ法ポリスチレンフォームの高さ(mm)</th> <th>スペーサーの高さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>225</td> <td>125</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>250</td> <td>150</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>275</td> <td>175</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>200</td> <td>249</td> </tr> <tr> <td>325</td> <td>225</td> <td>274</td> </tr> <tr> <td>350</td> <td>250</td> <td>299</td> </tr> </tbody> </table>			床板の厚さ(mm)	ビーズ法ポリスチレンフォームの高さ(mm)	スペーサーの高さ(mm)	225	125	174	250	150	199	275	175	224	300	200	249	325	225	274	350	250	299
床板の厚さ(mm)	ビーズ法ポリスチレンフォームの高さ(mm)	スペーサーの高さ(mm)																							
225	125	174																							
250	150	199																							
275	175	224																							
300	200	249																							
325	225	274																							
350	250	299																							

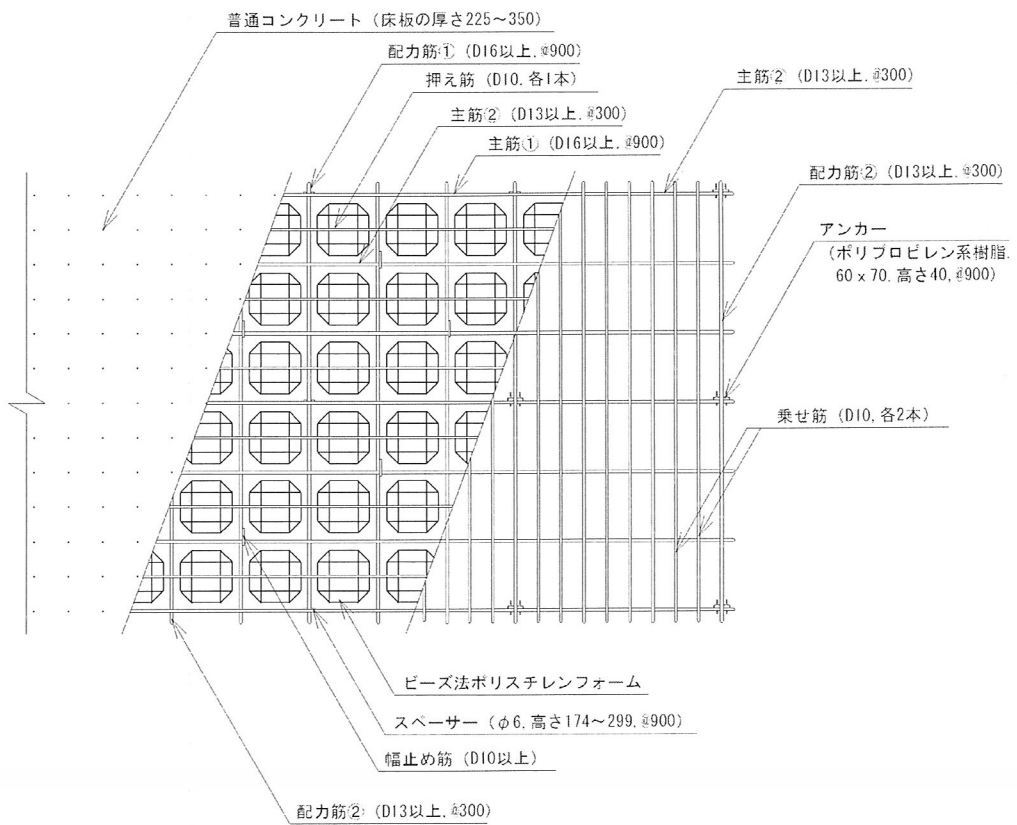
4. 構造説明図
(1) 透視図

(単位：mm)



(2) 平面図

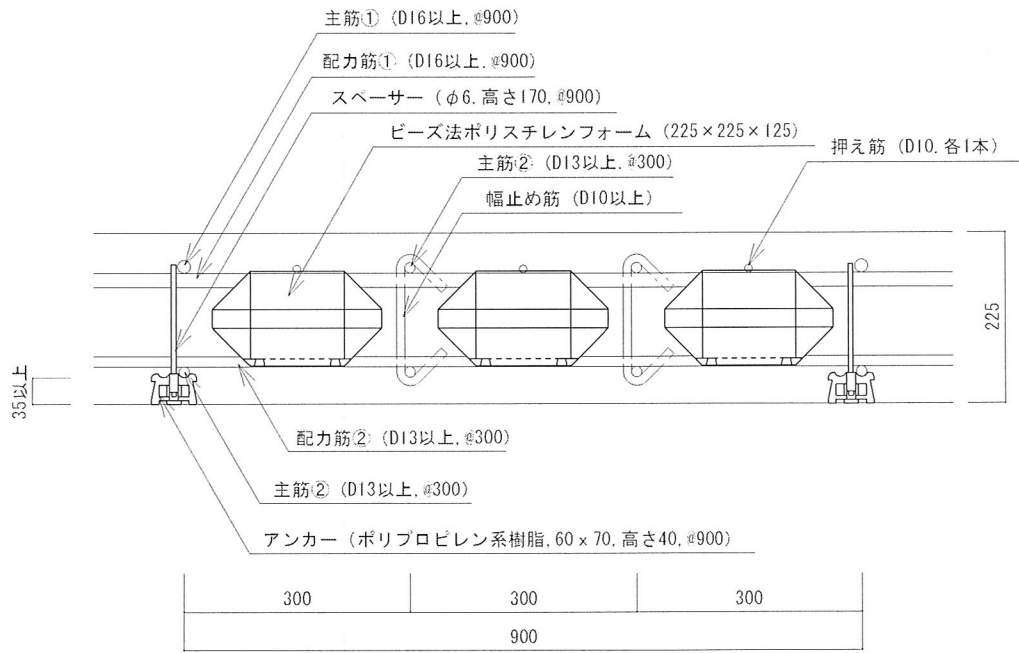
(単位 : mm)



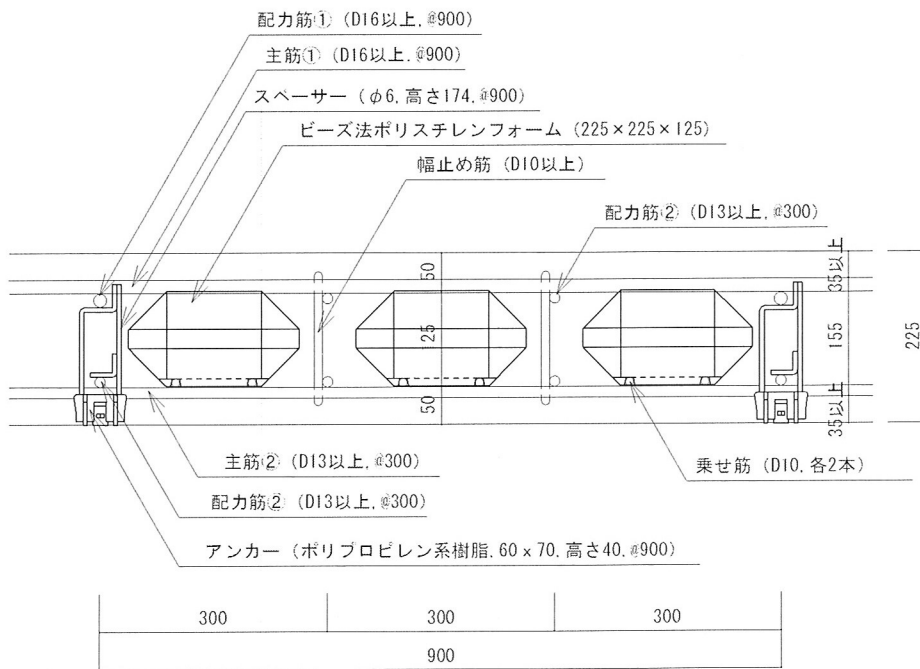
(3) 断面詳細図

(単位：mm)

①床板の厚さが225mmの場合

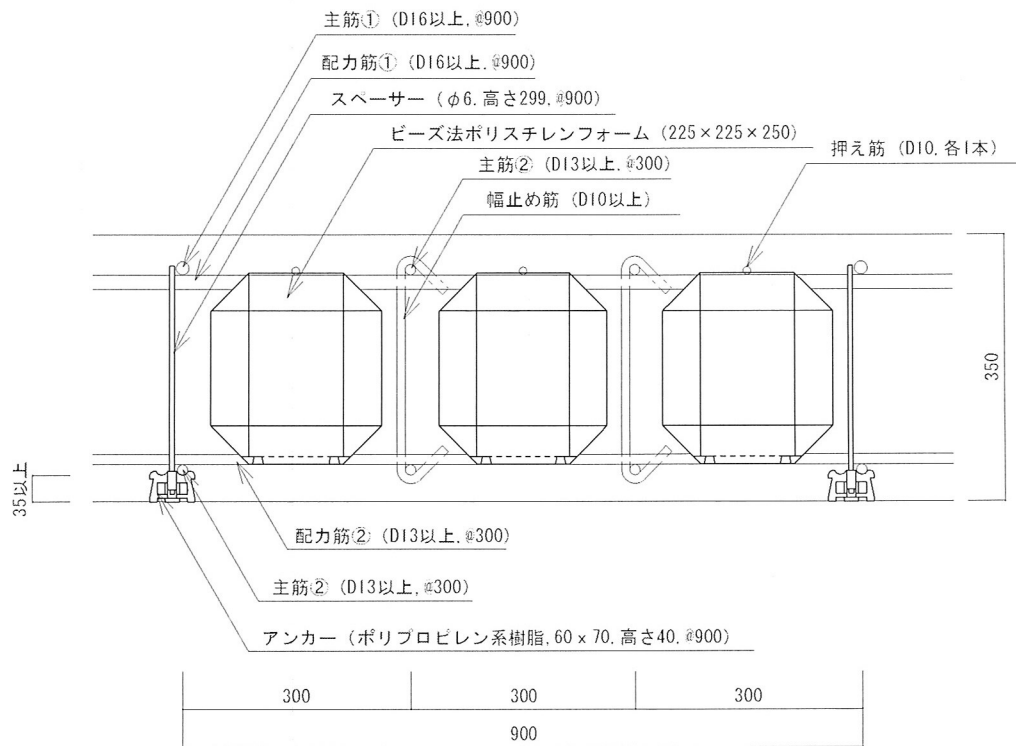


〔主筋直行方向〕

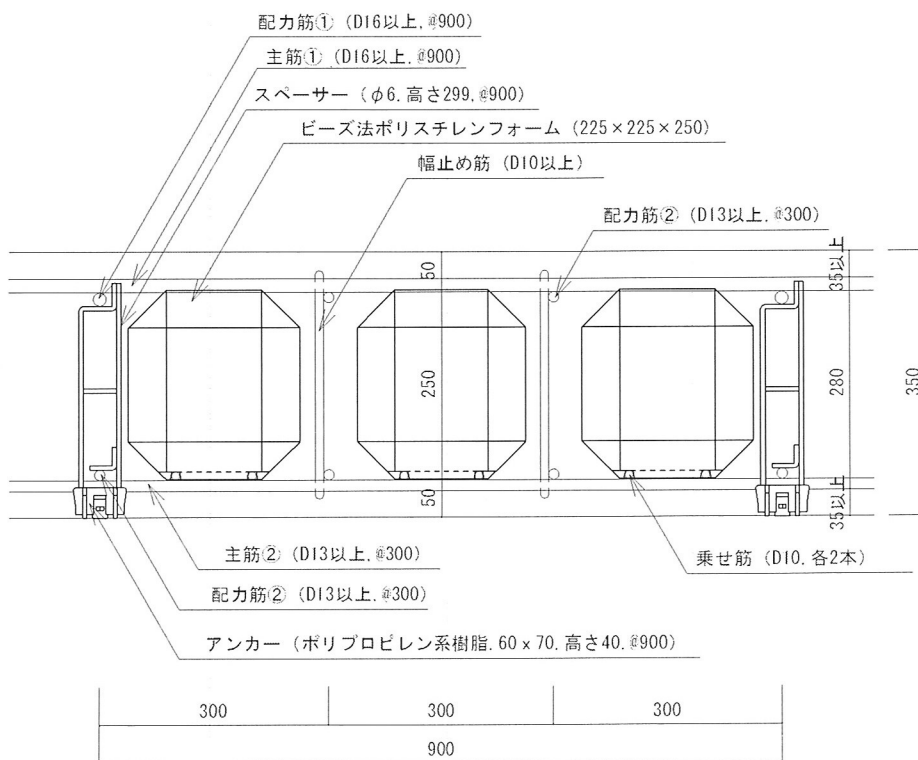


〔配力筋直行方向〕

②床板の厚さが 350 mm の場合



〔主筋直行方向〕

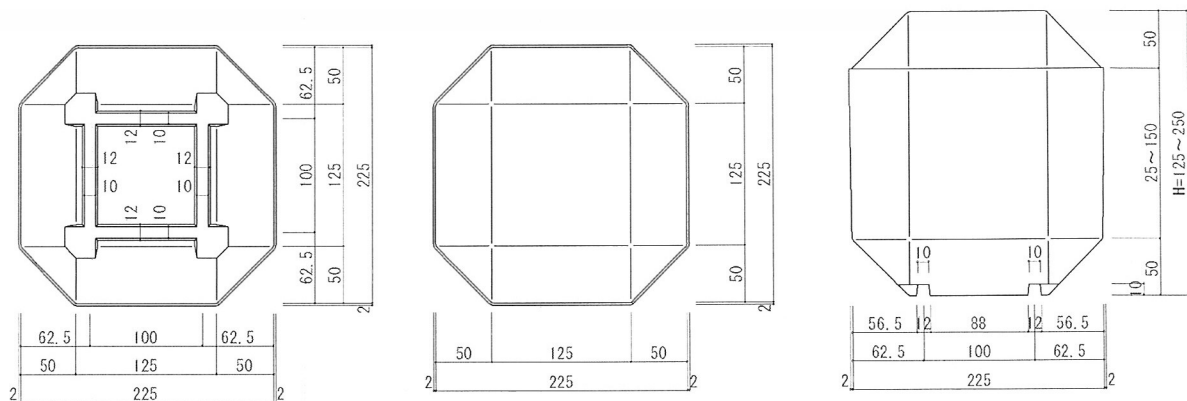


〔配力筋直行方向〕

(4) ビーズ法ポリスチレンフォーム等詳細図

①ビーズ法ポリスチレンフォーム詳細図

(単位：mm)



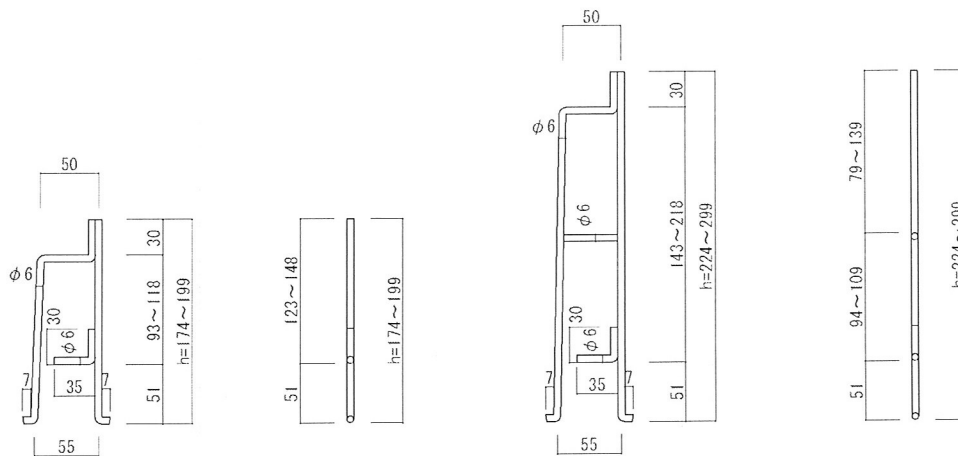
底面図

上面図

側面図

②スペーサー詳細図

(単位：mm)



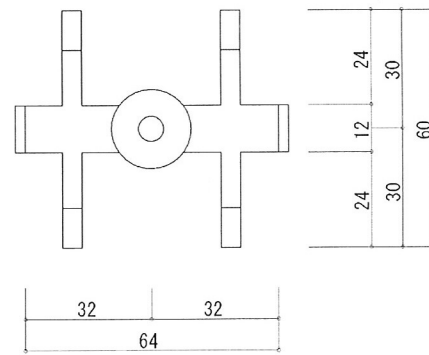
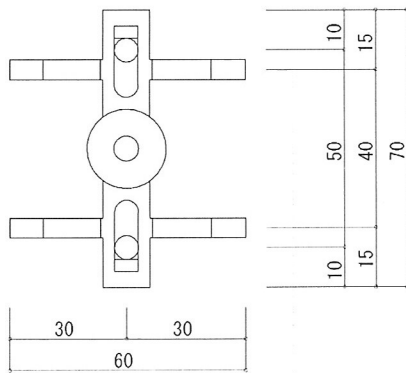
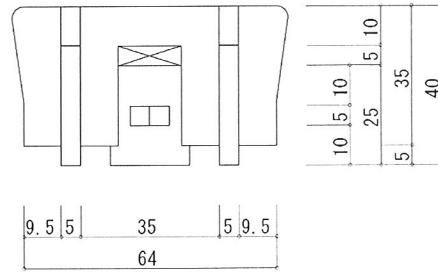
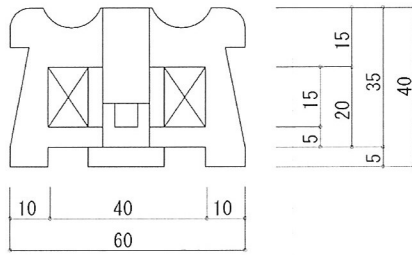
③床板の厚さとビーズ法ポリスチレンフォーム等の組み合わせ表

(単位：mm)

床板の厚さ	ビーズ法ポリスチレンフォームの高さ (H)	スペーサーの高さ (h)
225	125	174
250	150	199
275	175	224
300	200	249
325	225	274
350	250	299

④アンカー詳細図

(単位：mm)



〔正面及び底面図〕

〔側面及び底面図〕

5. 施工方法

(1) 型枠の敷設

割付図、配筋図等に基づき、コンクリート型枠用合板等の型枠を支保工上に敷設する。

(2) アンカーの取付け

墨出し後、アンカーを取付けるための穴をドリル等で型枠に開ける。アンカーボルトを 900 mm (X方向及びY方向)の間隔で穴に打込み、これにアンカーを取付ける。

(3) 下端筋の敷設

下端筋は、下記の手順で設置する。

①D13以上の主筋とD13以上の配力筋をそれぞれ300mmの間隔で敷設する。

②D10の乗せ筋を100mmの間隔で2本ずつ配力筋相互の間に配置し、下端主筋に敷設する。

(4) スペーサーの取付け

スペーサーをアンカーに差し込んで固定する。

(5) 上端筋の敷設

上端筋は、下記の手順で敷設する。

①D16以上の配力筋とD16以上の主筋をそれぞれ900mmの間隔でスペーサーの上に敷設する。

②予め配置していたD13以上の主筋とD13以上の配力筋をそれぞれ300mmの間隔で敷設する。

③D13以上の上端主筋と下端主筋をD10以上の幅止め筋(0.81㎡当たり2本以上)で結束する。

(6) ビーズ法ポリスチレンフォームの敷設

ビーズ法ポリスチレンフォーム(以下、ボイドという。)を、鉄筋格子の中央に位置するように、下端乗せ筋の上に配置する。

ボイドを固定するためのD10の押え筋を1本ずつ上端主筋相互の中央に配置し、上端配力筋に敷設する。

(7) コンクリートの打設

コンクリートの打設は、「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に準拠し、ボイドの浮き上がりや移動が生じないことを管理しながら行う。また、コンクリートは、かぶり厚さ不足が生じることのないように、かつ、所定厚さを確保するように不陸なく打込む。

(8) アンカーボルトの取外し

型枠下に突出したアンカーボルトをレンチ等で取外す。

(9) コンクリートの養生

コンクリートの養生は、「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。

(10) 型枠等の撤去

コンクリート養生後、型枠、支保工の撤去を行う。